



松本 春香

2016年9月からの1か月間、地域医療研修として和歌山病院で研修をさせていただきました。検査、病棟、外来と充実した毎日であり、振り返るとあっという間の1ヶ月間でした。今までの研修では経験したことのなかった胸腔穿刺やドレナージをはじめとする多くの症例で処置をさせていただき、経験を積むことができました。

また、外来診療において初診外来を担当させていただきました。入院で担当した患者さんが外来に来て元気な顔を見せに来た時の喜びや、外来で診ていく肺炎患者さんを帰宅させた時の不安さと再診時に改善していた時の安堵感は、これまで外来経験が少ない私にとっては新鮮でした。また、外来で診た患者さんが入院となった場合、入院後もそのまま主治医となり診断・治療・退院と一連の流れすべてに関わることができ非常に勉強になりました。

南方塾(南方先生が教えてくれる胸部画像の読影)も非常に勉強になりました。ご多忙の中時間を割いて下さり、胸部単純写真の読み方・解釈の仕方を教えてくださり、とてもわかりやすく楽しい授業でした。胸部レントゲンだけでも多くの情報を得ることができることに感動しました。

いつも不安なことだらけでしたが、指導医の先生方は皆優しく、時に厳しく指導していただき大変お世話になりました。

院長先生をはじめ各先生方、病棟スタッフや事務職員の方々には1ヶ月間大変お世話になり、非常に勉強となった研修が行えたと実感しております。熱心に指導して下さった先生方、スタッフの皆様に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

国立和歌山病院では、呼吸器内科の疾患を主に診させていただきました。今までの研修では呼吸器内科の病棟で研修をしたことがなかったため、胸腔穿刺やドレナージをさせていただく機会が少なかったのですが、和歌山病院で多くの症例で処置をさせていただき、経験を積むことができました。また、気管支鏡検査など今まで経験のない手技でも積極的に挑戦させていただき、今まで知識があいまいなままだったこともとても勉強になりました。肺炎をはじめさまざまな呼吸器疾患を診させていただきましたが、肺癌の治療についての

知識を得ずに研修を終えてしまうことは少し心残りです。

また、外来診療において初診外来を担当させていただき、一から患者様の病状を把握し、病態を考察、今後の方針を立てるところまで一通りの診察をさせていただきました。今までより、さらに責任感を持って診察にあたることができ、私たちの考えの及ばないところは上級医の先生方が補填してくださるので、安心して診察することもできました。今後は自立して初診をみなくてはならず、良い予行演習になったと考えています。

院長先生には、時折、私たち研修医に胸部レントゲン写真の読影を論理だてて説明してください、まことにありがとうございました。胸部レントゲンから病態を読み解く奥深さを再認識することができ、胸部レントゲンだけでも多くの情報を得ることができることに大変感銘を受けました。

1ヶ月間と短い間ではありましたが、先生方、事務の方々、医療クラークさんをはじめ、私たちの研修に携わってくださった多くの方々この場をお借りして御礼申し上げます。大変お世話になりました。ありがとうございました。